

# 「風景」リンクのAR技術で観光情報

北海道・小樽は、年間668万人（平成22年度）もの観光客が訪れる観光都市である。

業種

教育機関(大学)

活用分野

観光客向け情報サービス

テクノロジー

AR技術  
スマートフォン

平成23年に建学100周年を迎えた小樽商科大学では、情報提供で観光客を支援すべくモバイル機器の特性を生かしたシステムを考案。Androidスマートフォンに実装できる画像認識型AR(Augmented Reality)アプリを開発し、観光ポイントの写真に重畳して関連する観光映像、コンテンツを自動的に連動表示するという新たな方法を見出した。

従来、AR技術を活用した観光者への情報提供には「位置情報型」と「マーカー型」の2種があったが、前者は操作性・精度の点で、後者は二次元バーコード等の特定の図形マーカーへの誘導の点で難が指摘されており、画像認識をベースにすることによって問題の克服に取り組んだ。

同大学では実際に小樽運河エリアの歩行観光客に対する実証実験も行い、簡単な操作性で旅の魅力を高める豊かなコンテンツを利用できるという評価を獲得した。

小樽商科大学 ビジネス創造センター  
<http://office.cbc-s.otaru-uc.ac.jp/>

本社所在地 北海道小樽市緑3-5-21

事業内容

ビジネス創造センターは小樽商科大学の産学官連携拠点として1999年度に設置された